



## アルバン・プードレのヨーロッパ・パノラマ馬術情報 (159)

訳／大久保登喜子

10月4日、ベルギーのモーゼル大会でアイルランドのジェシカ・クルテン優勝、佐藤英賢とカートゥーンZ号が8位に付けた。佐藤は10月25日、リビアのトリポリグランプリで準優勝。アイルランドのシアン・オコンナーとイギリスのウイリアム・ホイテーカーの間に挟まれての2位である。

ワールドカップのヨーロッパ・サーキットが再開され、ノルウエーのオスロでスイスのダニエル・エッターとピウス・シュバイツァーが1、2位。フィンランドのヘルシンキでもエッターが優勝した。馬場馬術ではオランダのアンキー・ファン・グランシュファンとサリネロ号がデンマークのオーデンセで開催されたワールドカップ第1回遠征戦で優勝。ヨーロッパ選手権において驚異的な高得点で1、2位を占めて、鮮烈な印象を残したオランダのエドワード・ガルは2位。ただし、トティラス号には騎乗していない。



©Kit Houghton/ FEI

▲バドミントン、バーレーとCCI4\*を勝ち進んだイギリスのオリバー・タウンが総合馬術のHSBCクラシック・トロフィー獲得。写真はポーCCI4\*でフロントカーティス号に騎乗。

### ドイツ選手にベビーブーム

馬場のイザベル・ベルトに11月、赤ちゃんが生まれることはお知らせした通りだが、障害のメレディス・マイケル・ピアバウムも来年2月出産予定、さらに総合のイングリッド・クリムケがおめでたのためブックロー3\*大会に出場できないと発表した。3人の女性チャンピオンの中で、クリムケだけがすでに子供を持っていて、その子グレタは学齢に達している。

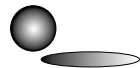
### ルドガー・ピアバウム、ドイツのBグループに

ルドガー・ピアバウムは2010年のドイツ国内Aグループに名を連ねることが

できず、Bグループにいる。ドーピングに対する制裁か、または成績がレベルに達していなかったのか。Aグループにはメレディス・マイケル・ピアバウム、マークス・アーニング、マルコ・クッチャー、トマス・ミュールバウエル（ホテルオーナーのセミプロだがヨーロッパ選手権で5位）、カールステン・オットー・ナゲル（ヨーロッパ選手権準優勝）、若手のフィリップ・バイスシャウトの6人がある。ドイツは偉大なるルドガーなしで世界馬術選手権（WEG）を戦うことになるのだろうか。メレディスは義妹だし、クッチャーは彼の右腕、バイスシャウトは弟子の中でも抜きん出て優秀……となれば、自分が出ないでも満足できるかも。

### ブリュッセル・マスターズはアウディの後援で再開

ロドリゴ・ペソア父子とクリストフ・アメウらが中心となって主催するベルギーのブリュッセル・マスタ



ーズ戦、今年はブリュッセルで開催できず、パリ近郊で12月に開催予定となった。しかし、2011年末にはブリュッセルにて再開される。パリ・ジャンピングのスポンサーはグッチ、世界のトップ10スポンサーはロレックス、ブリュッセル大会のメーンスポンサーは自動車のアウディと決まった。

### ロンドンオリンピックの話題

2012年ロンドンオリンピックの馬術会場はグリニッジカウインザーかとかしましかなかったが、北京オリンピックの際、会場がメーンスタジアムのある北京から離れた香港だったことと、ドーピング陽性件数が多かったことをIOCが懸念し、ロンドン大会では馬術も首都の中心部、それもオリンピック村の至近で行うようにと要望している。そうすれば、IOC役員の馬術会場への往復も容易になるだろう。そこで、LOCOG（ロンドンオリンピック組織委員会）はテムズ河畔のグリニッジを会場にするが、公園閉鎖期間は1か月にとどめることで折り合った。建設や準備期間に6～8週間を予定していたのを大幅に短縮し、クロスカントリーの日以外は花壇や子供の遊園地は開放したま

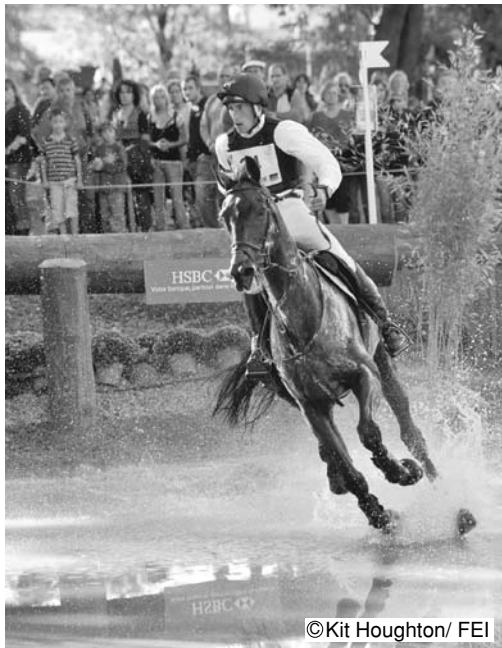
までオリンピック競技を開催する。障害馬術、馬場馬術、総合馬術の馬術競技3種目と近代五種、パラリンピックの会場はグリニッジとなる。

### 障害馬術世界ランキング

10月9日付けFEIの世界ランキングではトップ10にドイツ、スイス、フランスが2人ずつ入り、その他4名は各国1名ずつ。ドイツのマークス・アーニングが4か月連続首位、2位エリック・ラマーズ（加）、3位マクレーン、ワード（米）、4位メレディス・マイケル・ビアバウム（独）、5位エドウィナ・アレクザンダー（豪）。スイスはステーブ・ゲルダとピウス・シュバイツァーが入り、フランスは初めてトップ10入りのケビン・スタウト（9位）とミシエル・ロベール。日本のトップは佐藤英賢の202位、杉谷泰造は223位。

### 馬場馬術世界ランキング

先月とトップ10は変わらず、1位アデリンデ・コーネリッセン（蘭・パージバル号）、2位イザベル・ベル



©Kit Houghton/ FEI

▲HSBCクラシックの最終戦ボーCC14\*に優勝したドイツのダーク・シュレイドとキングアータス号。

ト（独・サッチモ号）、3位エドワード・ガル（蘭・トティラス号）、4位アンキー・ファン・グランシュファン（蘭・サリネロ号）、5位ステファン・ピーターズ（米・ラベル号）。法華津寛は69位。

### 総合馬術世界ランキング

トップ10のうち、5人をイギリス選手が占めた。首位は危なげなくウィリアム・フォックス・ピット（英）、2位ミヒヤエル・ユング（独）、3位オリバー・タウンド（英）、4位フランク・オストルト（独）、5位フィリップ・ダットン（米）。大岩義明は先月より40位ほど後退し131位。

### モーゼルCSI4\*はジェシカ・クルテン

ベルギーのモーゼルCSI4\*は、今年5月に46歳で他界した創始者のジャン・クロード・ヴァンゲンベルジュに捧げられた。大きな室内馬場にはクインタス号に騎乗したヴァンゲンベルジュのポートレートが掲げられ、5万ユーロの賞金がかかったジ



▲ノルウェーのオスロCSI-Wで優勝し、表彰されるスイスのダニエル・エッターとプーアプー号。左からショー・ディレクターのモルテン・アーセン氏、マルタ・ルイズ女王、エッター、ロレックス社のマグリ・デュボア・パウチャー氏。 ©Roger Svalsrod/ FEI

ヤン・クロード・ヴァンゲンベルジュ記念グランプリはミルマイルポロイズ号に騎乗したアイルランドのジェシカ・クルテンが勝ち取った。2位はオランダのタケン。8位に佐藤英賢とカートゥーンZ号が付けた。佐藤はヨーロッパの強豪とジャンプオフでよく戦い、もう少しで3位に食い込めるところだった。総計5走行ノーミスを果たしている。

### オスロ CSI-W はダニエル・エッター

10月8日～11日、ノルウエーのオスロで開催されたCSI-Wが2009-10 ロレックス FEI ワールドカップのヨーロッパ・リーグ初戦であった。世界ランキング・トップ10の内6人が参加する盛況で、特にスイスチームは来年4月のジュネーブ・ファイナルを前にしてやる気満々。グランプリでワン・ツーを決めた。

3月のスヘルトゲンボス大会で優勝したダニエル・エッターとプーアプー号がピウス・シュバイツァーとユリス XCH 号に0.7秒の差を付けて勝った。3位はフランスのパトリス・ドラボとカッチーナメール号、ドイツのクッチャー、ドイサー、バイスシャウトが4、5、6位と続いた。ヨーロッパ・チャンピオンのケビン・スタウトは1落下して14位、スイスのステーブ・ゲルダとトレゾア号が15位。トップ10に名を連ねる選手たちはそれぞれ2、3点ずつワールドカップポイントを加算できた。

「プーアプー号はスピードを上げると命じると100%応えてくれる。経路の最後にきついカーブがあって障害が2個続き、最終のロレックスのオクサーに行くところも十分信頼にできてくれた」(エッター)

彼は続いてリヨン、グローバルツァー・ファイナルのドーハへと遠征して行く。妻のマリー・ベルグランはフォンテンブローで行われたフランスチャンピオン戦で銅メダルを獲得。2人して頑張っている。

### ブックロー CCI3\* ではドイツ勢圧勝

総合馬術ではポー CCI4\* (仏) が開催される前の最終戦がオランダのブックロー CCI3\* 大会。ドイツが個人・団体金メダルを獲得したのは2人の女子選手に負うところが大きい。優勝は昨年引き続きジュリア・メステルンと種牡馬のショルシュ号、準優勝ジモーネ・ダイターマンとフリーイージー号、3位イギリスのルス・エッジとPC ウイルソン号。障害ノーミスが幸いした。地元フランスはニコラ・トゥーザンが障害1落下して3位に1点差で4位。5位イギリスのオリバー・タウン。上位



©Marcus Westermark/FEI

▲フィンランドのヘルシンキ CSI-W で準優勝のアメリカ、ローレン・ハウとクイックスタディー号。

10名中6名がドイツ選手。団体2位はフランス、3位イギリス。

### リングウッドコカトゥー号競技から引退

10月11日、ドイツのベティーナ・ホイは芦毛の愛馬リングウッドコカトゥー号(18歳)のお別れの儀式を行った。ブックロー CCI3\* の会場を選んだのは、3スターに初めて優勝したのが2002年この場所だったからである。同年国内試合に3回勝ち、全キャリアを通じて4スターに2回(リューミュールン、ポー)、3スターに7回優勝している。'06年アーヘン WEG では団体優勝、アテネオリンピックではひとたび金メダルで表彰台に上がるも、後にメダル返上する事態となった。華麗でドラマチックな経歴を持った馬だ。

### パメラ・カルザース死去

女性のコースデザイナーは少ないが、パメラは全デザイナー中でも最高レベルにいた。9月23日、イギリスのウィルトシャーにて死去、享年93。第2次大戦直後まで障害選手として活躍し、60年代初め、ヒックステッドでオーナーのダグラス・バン氏(今夏死去)と協力しながらコースデザインを進めた。有名なヒックステッドダービーのコースも彼女の作品。モントリオールオリンピック



©Rinaldo de Crean/FEI

◀ドイツのハンノーバーで行われた馬車競技のワールド・エクスセル。



(76)、ソウルオリンピック(88)でも働いた。

### ヘルシンキ CSI-W でもダニエル・エッター

フィンランドの首都ヘルシンキで行われた CSI-W はワールドカップ・ヨーロッパリーグの2戦目。スイスのダニエル・エッターが好調続きで、プーアプー号に騎乗して10人馬によるジャンプオフを制した。2位はアメリカのローレン・ハウとクイックスタディー号。1、2位の差は0.28秒だった。「ジュネーブでファイナルが行われる期待でモチベーションが上がった。特にダブルのところであらゆるリスクを懸けて走行した」(エッター)。

3位はオランダのエリック・ヴァン・デル・ブルーテンとトムボーイ号。

### ハノーバー CSI4\* ではクリスチャン・アールマン

ワールドカップ遠征戦ではないが、ハノーバー CSI4\* は重要な競技会である。名種牡馬ガルーベA号の仔タルベットZ号に騎乗してドイツのクリスチャン・アールマンが25,000ユーロ(約340万円)の賞金がかかったハノーバー・グランプリを取った。2位ルドガー・ピアバウムとゴータ号、3位スウェーデンのロルフ・ゴラン・ベンソン。騎乗したのは北京五輪銅メダルのニンジャラシーラ号。

ハノーバーのドレッサージュはドイツのカローラ・コベルマンとインステルブルク号がグランプリと自由演技の両方に勝った

### ワシントン CSI4\* ではトッド・ミニカス

アメリカのワシントンで開催されたワシントン CSI4\* ではトッド・ミニカスがアラスカ号に騎乗してグランプリ優勝。2位ケイト・レビー、3位マリオ・デロリエ。デロリエは国籍をカナダから妻の出身地アメリカに変えて戦うことになった。ブラジルのロドリゴ・ベソアはレッツフ

ノルウエーのオスロ CSI-W で2人のスイス人に続いた3位のフランス、バトリス・ドラボールとカッチーナ号。



©Roger Svalsrod/FEI

ライ号に騎乗して5位。

### ジョン・ホイテーカー負傷

イギリスのジョン・ホイテーカー(54歳)は20世紀を代表する障害選手である。オランダのアッセン CSI3\* で激しい落馬をして足首骨折。手術を受けた。おそらく6週間はじっとしていなければならないだろう。乗馬のペパーミル号が故障から回復して5カ月ぶりに現場復帰したというのに。「馬はこの通り快調だけれど、今度はこちらが跛行しちゃった!」ジョンはいつも周りの人を笑わせようと気を配っている。

### トリポリ CSI3\* ではシアン・オコンナー

中東リビアの首都トリポリで CSI3\* が開催され、アイルランドのシアン・オコンナーとエコビーチ 11.1号がグランプリ優勝。イギリスのウィリアム・ホイテーカーとサーリオン号がグランプリ3位。この2人がほとんどの競技を制したと言ってもいいが、グランプリで2人の間に食い込み、2位に入賞したのが華奢な日本人佐藤英賢とカートゥーンZ号。佐藤は他の競技にもコメット号で6位に入っている。

### チュザノフスキー、アウディ1台獲得

フランスのエクサンプロバンス CSI2\* が開かれ、優勝はフランス人のジェローム・ユレル。2位はスイ

スのエッター夫人であるフランス人、マリー・エッター・ペルグラン。3位にスイス在住ポーランド人のヤン・チュザノフスキーとレディーバードルセイ号が付けた。この人馬は1週間前にはグランプリ優勝するなど、常に上位にいて、8回ノーミス走行した選手に約束されたアウディ1台を手にした。2頭の馬に騎乗したが、8回のノーミスは果たした。ついでに常に上位にいる選手に提供される時計も獲得して客席の拍手を浴びた。

### ポー CCI4\* ではダーク・シュレイド

フランスのポーは総合馬術の会場として4スター入りし、イギリスのバドミントン、バーレー等総合馬術の4スター戦5競技会をまとめたHSBCクラシックスの一環となり、今年度最後の試合となった。ドイツ選手がワン・ツーを決め、優勝ダーク・シュレイド(キングアータス号)、2位アンドレアス・ディボウスキー(ブッツレオン号)。3位に地元フランスのバスカル・ルロワ(ミノストゥテトラ号)が来た。ジャン・チュレール(マテロデュグランバル号)は5位。バドミントン、バーレーを制し、最高潮のイギリス選手オリバー・タウンズはクロスカントリー終了時にトップに立っていたが、カメルクエスト号が障害減点31となり、メダルはなくなった。それにしても今年度HSBCクラシックスでは優勝である。